

## 北國銀行が首位決戦を制す!

### ～第36回日本ハンドボールリーグ・第9週～

第36回日本ハンドボールリーグ第9週は、1月14、15日に熊本などで女子3試合が行われ、14日、熊本では第1ステージとともに4勝1分と無敗で駆け抜け、首位を並走していたオムロンと北國銀行が対戦。会場は地元・オムロンへの声援一色に包まれる中、北國が懸命に粘り、残り3分を切ったからの3連打で27-26と逆転勝ちして単独トップに。北國、オムロンを追ってプレーオフ進出を狙う広島メイプルレッズはHC名古屋を、ソニーセミコンダクタも三重バイオレットアイリスを無難に退けた。

年明けいきなりの大一番となったオムロン-北國戦は、双方が激しく主導権を奪い合った前半を北國が15-14と1点リードして後半へ。後半序盤は北國が上町の通算700得点となったステップシュートなどで3連取し、8分、20-16と4点リード。しかし、激しく首位を争う両者の対戦はここからが本番。北國が樋口の負傷リタイアでリズムを崩すとともに、オムロンもポスト金且妍を永田に代えて反撃態勢に。オムロンは12分、19-21と2点リードを許した場面から、勝連の思い切りの良い速攻などで4連取し、18分、23-21と態勢を入れ替えた。2700人を超える地元の大声援を背にリードを背にしたオムロンは、北國ディフェンスからの厳しいマークを振り払った藤井の活躍などでそのままリードを保って終盤を迎えたものの、諦めることなくしぶとく粘り続けた北國は、残り3分を切り、24-26と2点ビハインドの場面から、仲宗根のミドルに続き、上町の速攻で26-26の同点に追いつき、さらに残り41秒、上町のカットインで鮮やかに逆転。スタンドがため息に包まれる中、北國が27-26の1点差で逃げ切り、5勝1分で単独トップに立った。

同14日、熊本で行われたソニー-三重戦は、ソニーが左腕・山野が5連取の大爆発で好スタート。そのままソニーが主導権をガッチリとキープし、後半へと向かった。ソニーは後半も山野を軸に得点を重ねるとともに、この試合を前に、通算1200得点まであと5点に迫っていた田中も得点ペースを上げ、19分、小気味良く放ったこの試合5点目のゴールが通算1200点目のメモリアルゴールに。ソニーはこの田中の金字塔や山野の大爆発で最後まで主導権を握り続け、37-25で三重を圧倒。3勝目をマークした。

15日愛知での名古屋-広島戦は、宋海林のロングなどで3連取した広島がペースを握る。対する名古屋は細田で反撃したがあとが続かず、16分には9-1と広島が8点をリード。その後も名古屋のセットオフenseをきっちり抑え込んだ広島が前半だけで7得点をあげた宋の活躍もあり、13-6の7点リードで前半を折り返した。後半は名古屋の粘り強いディフェンスの前に広島の得点が伸び悩んだが、オフenseで決め手を欠く名古屋も前半の点差を縮めることができずタイムアップ。22-13の9点差で広島が勝利を取めた。

次週は1月21、22日に鹿児島などで女子3試合が行われ、2位のオムロンが4位のソニーの挑戦を受けるほか、首位の北國が名古屋、3位の広島が三重と対戦する。



㊦首位決戦を制した北國・若松  
㊦3勝目をマークしたソニー・山野

### 第10週の日程

1月21日(土)	鹿児島 霧島市国分体育館(JR日豊本線国分駅徒歩15分)	14:00~	(女)	ソニーセミコンダクタ×オムロン
1月22日(日)	愛知 愛知県体育館地(地下鉄名城線市役所駅徒歩7分)	16:30~	(女)	HC名古屋×北國銀行
	三重 鈴鹿市立体育館(近鉄名古屋線白子駅バス「体育館前」下車徒歩5分)	14:00~	(女)	三重バイオレットアイリス×広島メイプルレッズ



# 男女個人ランキング 第9週終了現在

## 《男子》

## 《女子》

### 得点王

1	村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	79点	(11試合)	1	上町 史織 (北國銀行)	46点	(6試合)
2	東長濱 秀希 (大崎電気)	68点	(11試合)	2	山野 由美子 (ソニーセミコンダクタ)	45点	(6試合)
3	藤山 岳士 (トヨタ紡織九州)	66点	(11試合)	3	藤井 紫緒 (オムロン)	41点	(6試合)
3	野田 祐希 (豊田合成)	66点	(11試合)	4	錦 織 新 (ソニーセミコンダクタ)	30点	(6試合)
5	村山 裕次 (琉球コラソン)	59点	(11試合)	4	石立 真悠子 (オムロン)	30点	(6試合)
6	東長濱 秀作 (湧永製薬)	58点	(11試合)	4	植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	30点	(5試合)
6	樋口 睦 (湧永製薬)	58点	(11試合)	7	樋口 真央 (北國銀行)	29点	(6試合)
8	小澤 広太 (大崎電気)	56点	(11試合)	8	早船 愛子 (バイオレットアイリス)	28点	(6試合)
9	富田 恭介 (トヨタ車体)	52点	(11試合)	9	高山 智恵 (メイプルレッズ)	26点	(6試合)
9	宮崎 大輔 (大崎電気)	52点	(11試合)	9	高田 裕梨 (オムロン)	26点	(6試合)
9	切越 巧也 (北陸電力)	52点	(11試合)	11	張 素 姫 (ソニーセミコンダクタ)	25点	(6試合)
12	佐藤 智仁 (湧永製薬)	51点	(11試合)	11	宋 海 林 (メイプルレッズ)	25点	(6試合)
12	武田 享 (大同特殊鋼)	51点	(11試合)	13	伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	24点	(6試合)
14	山城 貴志 (大同特殊鋼)	50点	(11試合)	14	石坂 美奈子 (バイオレットアイリス)	22点	(6試合)
15	赤塚 孝治 (北陸電力)	49点	(11試合)	14	東濱 裕子 (オムロン)	22点	(6試合)

### フィールド得点

1	村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	78点	(11試合)	1	上町 史織 (北國銀行)	37点	(6試合)
2	小澤 広太 (大崎電気)	56点	(11試合)	2	山野 由美子 (ソニーセミコンダクタ)	34点	(6試合)
3	富田 恭介 (トヨタ車体)	52点	(11試合)	3	石立 真悠子 (オムロン)	30点	(6試合)
3	宮崎 大輔 (大崎電気)	52点	(11試合)	4	樋口 真央 (北國銀行)	28点	(6試合)
3	野田 祐希 (豊田合成)	52点	(11試合)	4	早船 愛子 (バイオレットアイリス)	28点	(6試合)
3	村山 裕次 (琉球コラソン)	52点	(11試合)	6	錦 織 新 (ソニーセミコンダクタ)	26点	(6試合)
3	切越 巧也 (北陸電力)	52点	(11試合)	6	高山 智恵 (メイプルレッズ)	26点	(6試合)
8	佐藤 智仁 (湧永製薬)	51点	(11試合)	6	高田 裕梨 (オムロン)	26点	(6試合)
8	武田 享 (大同特殊鋼)	51点	(11試合)	6	藤井 紫緒 (オムロン)	26点	(6試合)
10	山城 貴志 (大同特殊鋼)	50点	(11試合)	10	張 素 姫 (ソニーセミコンダクタ)	25点	(6試合)
11	藤山 岳士 (トヨタ紡織九州)	48点	(11試合)	11	植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	24点	(5試合)
11	樋口 睦 (湧永製薬)	48点	(11試合)	12	石坂 美奈子 (バイオレットアイリス)	22点	(6試合)
13	門山 哲也 (トヨタ車体)	47点	(10試合)	12	宋 海 林 (メイプルレッズ)	22点	(6試合)
13	中島 嘉之 (トヨタ紡織九州)	47点	(11試合)	12	東濱 裕子 (オムロン)	22点	(6試合)
13	末松 誠 (大同特殊鋼)	47点	(11試合)	15	早川 志歩 (メイプルレッズ)	20点	(6試合)
13	東長濱 秀希 (大崎電気)	47点	(11試合)				

### シュート率 (フィールド得点ベスト10を対象)

1	富田 恭介 (トヨタ車体)	52点/ 68射 0.765	1	錦 織 新 (ソニーセミコンダクタ)	26点/ 34射 0.765
2	山城 貴志 (大同特殊鋼)	50点/ 71射 0.704	2	高山 智恵 (メイプルレッズ)	26点/ 36射 0.722
3	村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	78点/ 112射 0.696	3	高田 裕梨 (オムロン)	26点/ 39射 0.667
4	佐藤 智仁 (湧永製薬)	51点/ 75射 0.680	4	石立 真悠子 (オムロン)	30点/ 46射 0.652
5	小澤 広太 (大崎電気)	56点/ 89射 0.629	5	樋口 真央 (北國銀行)	28点/ 49射 0.571
6	宮崎 大輔 (大崎電気)	52点/ 92射 0.565	6	張 素 姫 (ソニーセミコンダクタ)	25点/ 44射 0.568
7	野田 祐希 (豊田合成)	52点/ 102射 0.510	7	上町 史織 (北國銀行)	37点/ 67射 0.552
8	武田 享 (大同特殊鋼)	51点/ 104射 0.490	8	山野 由美子 (ソニーセミコンダクタ)	34点/ 74射 0.459
9	村山 裕次 (琉球コラソン)	52点/ 112射 0.464	9	藤井 紫緒 (オムロン)	26点/ 57射 0.456
10	切越 巧也 (北陸電力)	52点/ 121射 0.430	10	早船 愛子 (バイオレットアイリス)	28点/ 63射 0.444

### 7mスロー得点

1	東長濱 秀希 (大崎電気)	21点	(11試合)	1	藤井 紫緒 (オムロン)	15点	(6試合)
2	木切倉 真一 (トヨタ車体)	18点	(11試合)	2	山野 由美子 (ソニーセミコンダクタ)	11点	(6試合)
2	藤山 岳士 (トヨタ紡織九州)	18点	(11試合)	3	上町 史織 (北國銀行)	9点	(6試合)
4	野田 祐希 (豊田合成)	14点	(11試合)	4	伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	8点	(6試合)
4	東長濱 秀作 (湧永製薬)	14点	(11試合)	5	植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	6点	(5試合)

### 7mスロー阻止率 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1	内田 武志 (琉球コラソン)	8本/ 19射 0.421	1	堂面 妙子 (メイプルレッズ)	5本/ 12射 0.417
2	松村 昌幸 (湧永製薬)	5本/ 12射 0.417	2	田代 ひろみ (北國銀行)	2本/ 6射 0.333
3	藤堂 聖二 (豊田合成)	4本/ 13射 0.308	2	田口 舞 (メイプルレッズ)	2本/ 6射 0.333
4	松野 雅崇 (トヨタ紡織九州)	4本/ 17射 0.235	4	藤間 かおり (オムロン)	4本/ 13射 0.308
5	志水 孝行 (湧永製薬)	2本/ 11射 0.182	5	近藤 澄江 (H C 名古屋)	3本/ 10射 0.300

## 第36回日本ハンドボールリーグ成績表 第9週終了 1月15日

順位	男子	大崎電気	大同特殊鋼	トヨタ車体	湧永製菓	トヨタ紡織九州	琉球コラソン	豊田合成	北陸電力	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大崎電気	29 33 ○ ○ 21 31	28 ● 31	32 31 ● ○ 33 30	38 36 ○ ○ 31 24	33 ○ 28	40 ○ 33	37 43 ○ ○ 25 21	11	9	0	2	18	380	308	72	
2	大同特殊鋼	21 31 ● ● 29 33	26 30 △ ○ 26 25	25 33 ○ ○ 23 29	33 ○ ○ 31	31 ○ 23	37 ○ 26	37 37 ○ ○ 18 18	11	8	1	2	17	341	281	60	
3	トヨタ車体	31 ○ 28	26 25 △ ● 26 30	25 35 ● ○ 30 27	35 ○ ○ 33	36 35 ○ ○ 13 23	33 37 ○ ○ 32 18	43 ○ 15	11	8	1	2	17	361	275	86	
4	湧永製菓	33 30 ○ ● 32 31	23 29 ● ● 25 33	30 27 ○ ● 25 35	26 ● 33	28 ○ 27	26 33 ● ○ 27 26	37 ○ ○ 26	11	6	0	5	12	329	313	16	
5	トヨタ紡織九州	31 24 ● ● 38 36	31 ● 33	33 ● 35	26 ● 33	28 21 ○ ● 24 26	37 34 ○ ○ 27 28	34 35 ○ ○ 25 29	11	5	0	6	10	334	334	0	
6	琉球コラソン	28 ● 33	23 ● 31	13 23 ● ● 36 35	27 ● ● 28	24 26 ● ○ 28 21	26 22 ○ △ 24 22	26 28 ○ ○ 21 22	11	4	1	6	9	266	301	-35	
7	豊田合成	33 ● 40	26 ● 37	32 18 ● ● 33 37	27 26 ○ ● 26 33	27 28 ● ● 37 34	24 22 ● △ 26 22	25 ○ 21	11	2	1	8	5	288	346	-58	
8	北陸電力	25 21 ● ● 37 43	18 18 ● ● 37 37	15 ● 43	26 ● 37	25 29 ● ● 34 35	21 22 ● ● 26 28	21 ● 25	11	0	0	11	0	241	382	-141	

順位	女子	北國銀行	オムロン	広島メイプルレッズ	ソニーセミコンダクタ	三重バイオレットアイリス	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	北國銀行	21 27 △ ○ 21 26	29 ○ 26	34 ○ 23	38 ○ 18	39 ○ 14	6	5	1	0	11	188	128	60	
2	オムロン	21 26 △ ● 21 27	32 ○ 19	35 ○ 25	33 ○ 13	39 ○ 13	6	4	1	1	9	186	118	68	
3	広島メイプルレッズ	26 ● 29	19 ● 32	28 ○ 24	31 ○ 18	33 22 ○ ○ 16 13	6	4	0	2	8	159	132	27	
4	ソニーセミコンダクタ	23 ● 34	25 ● 35	24 ● 28	35 37 ○ ○ 26 25	30 ○ 11	6	3	0	3	6	174	159	15	
5	三重バイオレットアイリス	18 ● 38	13 ● 33	18 ● 31	26 25 ● ● 35 37	26 ○ 17	6	1	0	5	2	126	191	-65	
6	HC名古屋	14 ● 39	13 ● 39	16 13 ● ● 33 22	11 ● 30	17 ● 26	6	0	0	6	0	84	189	-105	

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。